

# きまた信明 活動だより 追補版

追補版

●木全信明プロフィール  
1955(S30)年稲沢市生まれ  
2011(S23)年稲沢市役所退職  
稲沢市議会議員初当選  
2015(S27)年同2期目当選  
経済建設委員会委員長等歴任



鈴木県議と活動(手伝いですが)している STEP21 の 7 月の街宣では県議不在のためマイクを握らせて頂き 6 月の市議会報告などさせて頂きました。不慣れなためお聞き苦しい点もあり早朝から大きな声で失礼しましたがお許しください。その議会質問等のバックボーンとなっているのが 2018 年から 2027 年を計画期間とした第 6 次総合計画 **稲沢市ステージアッププラン**です。今回の追補版はそのダイジェスト版からの抜粋等です。通常より早く開会した 9 月定例会が終わると市議会議員選挙(9 月 15 日告示 22 日投開票)です。是非投票にお出掛けください。今後も「一生懸命仕事をしていきます」のでよろしくお願ひします。

## 稲沢市ステージアッププラン

### ◆稲沢市が目指すまち

ー2027 年に向けた稲沢市の目標ー

#### ●市民が、将来もずっと暮らし続けるまち



#### 背景課題

加速する人口減少  
(12 年間で約 1 万 2 千人減)  
名古屋市周辺都市では人口増  
周辺都市に比べ住宅建設が進まない  
定住希望者も市外に転出?

#### ●名古屋圏で働く人が、暮らしの場として憧れるまち



まちづくりの市民の評価は改善  
リニア開業は大きなチャンス

- 名駅から鉄道アクセス 10 分圏
- 都市と自然の融合

### ◆まちづくりのコンセプト

ー目指すまちの形成に向けてー

#### ●名古屋圏における稲沢市の存在感向上



名古屋駅周辺開発やリニア開業の好影響  
名古屋駅から鉄道アクセス 10 分圏のポテンシャル  
心地よく暮らせる日常生活圏を形成  
住宅環境、子育て支援、教育環境を整備して若い世代を  
人口減少・超高齢社会に対応した社会システムを形成

### ◆重点戦略

ー今後 10 年間で優先して取り組むことー

#### ①「攻め」と「守り」の定住促進

転入者向けの宅地供給(攻めの施策)と、住み慣れた地域での定住希望への対応(守りの施策)を推進します。

国府宮駅周辺再整備、主要駅周辺で新たな住居系市街地、市街化調整区域の定住ニーズ等



#### ②若い世代が安心して子育てできる環境整備

社会情勢や子育て世代のニーズを把握し、子育て環境を充実させます。

情報の提供と相談体制整備、企業内保育等官民連携、保育人材の確保等



#### ③多種多様な産業振興

大都市近郊の特性や強みを生かし、企業誘致や産業振興に取り組みます。

企業誘致・地元企業の PR や事業承継・新規創業支援、農業従事者の確保・農地集約・6 次産業化等



#### ④次世代のための行政改革

人口減少、超高齢化、財政のひっ迫といった現実に向き合い、行政サービスを継続的に提供できるように行政運営の改革に努めます。

公共施設の再編、まちづくりの活性化等



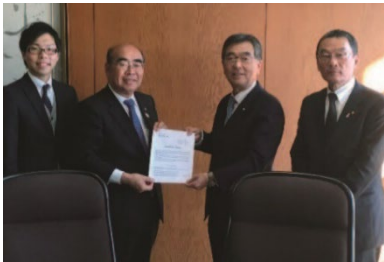
# 一生懸命 仕事します。③

新政あいち



稲沢市議会議員

のぶ あき  
きまた信明です。



● 市長への提言



● 市民クラブの仲間と



● 議会政策検討会にて



● 全国地方議会サミット会場にて



● 連合の皆さんと国会視察



● STEP21 鈴木県議と街宣

初当選させて頂いてから2期8年間、稲沢市職員としての経験を活かし、道路整備など地域の住環境の整備や稲沢市の将来を見据えた提言など積極的に取り組んでまいりました。

併せて小中学校空調整備、平和工業団地（第2期）、長野子育て支援センターなどや議会改革では意見交換会や政策討論会の開催を実現しました。

今後も改革を進めるとともに、人口減少・少子高齢化時代の新たな住宅地の形成、国府宮駅周辺再整備、防災対策、環境、子育て、福祉、教育などの課題や鈴木県議と連携した県道（渋滞緩和）、河川（三宅川・福田川）の整備など「一生懸命仕事」をし、明るく元気で存在感のある稲沢市を目指します。



◆ 若かりし頃 消防団第1分団で県大会出場



◆ 北小学校清掃



イネは稲穂(県)連区のイメージです

## 地域力！ 稲沢

- 安心して安全に暮らせる地域づくり
- 子育て支援と子ども達の将来への環境づくり
- 活力ある地域づくり  
(鉄道高架・地域コミュニティの維持)
- 災害対策と生活環境を守る取り組み
- 政治倫理の確立と議会改革の推進



鈴木県議 木全 坂上元市議